



東長崎

一ひがながプライド

HIGASHI NAGASAKI PRIDE

PRIDE

HIGASHI NAGASAKI JHS

自ら誇りと自信を持ち、率先して行動する

長崎市立東長崎中学校
学校だより 第18号
令和5年 11月1日発行
副校長 宮崎国広

連合音楽会・美術部作品展

10月12日、13日の両日に今年も「第73回長崎市中学校連合音楽会」が長崎市ブリックホールで開催されました。本校からは音楽部17名(3年生6名、2年生8名、1年生3名)が参加しました。曲目は「チェスボード」「今日もひとつぜんぶ」の2曲を発表しました。クオリティの高さを感じさせる立派な演奏でした。

また、他校からは、合唱や吹奏楽の他に、オーケストラやハンドベル演奏もあり、各学校における音楽活動の充実が感じられるものでした。

さらに、連合音楽会に合わせ、10月12日から18日にかけて、長崎ブリックホールで美術部作品展も開催されました。この美術展は、市内美術部生徒の作品を一同に展示することで、美術部生徒の連携を深め、活動を活性化するとともに、生徒や保護者をはじめ市民の皆様へ鑑賞していただき、美術部の活動により関心を深めていただくことを目的としています。本校美術部からもこれまでに取り組んできた数多くの素晴らしい作品が出品されました。

第43回少年の主張大会

10月15日(日)、東長崎中・日見中・橘中学校区青少年育成協議会主催の「令和5年度 第43回 少年の主張大会」が東部地区にここセンターにて開催されました。東長崎地区の各小中学校より小学生6名、中学生9名の代表が自分の思いを語ってくれました。本校からは1年生濱崎さん、2年生川崎さん、3年生谷口さんが本校代表として参加しました。

1年生濱崎さんは「一冊のパンフレットとの出会い」と題してハンセン病のパンフレットを手にしてから、ハンセン病について調べたことについて発表してくれました。不十分な理解や知識のため偏見や差別があったことを知り、差別や偏見が起こらないためには、何が正しいのか自分がしっかり考え行動することが必要であることを訴え、自分自身はパンフレットのオレンジ色のように温かな気持ちを持つ人になりたいと語ってくれました。そして将来は、そのような温かな気持ちを持った看護師になりたいと夢を語ってくれました。



2年生の川崎さんは、仲間と協力し教え合うことで、自分が、今まで気づかなかったことや知らなかったことに気づくことができる。競い合えることで自分の記録を伸ばすことができる。自分の苦手なことにも仲間の声援で勇気や元気をもらい、立ち向かい乗り越えていくことができる。部活動での経験を通して仲間のありがたさについて話をしてくれました。そして、出会いを大切に思い、仲間の話に耳を傾けていきたい。そして信頼関係を築き、たくさんの仲間を増やしていきたいと話してくれました。

3年生の谷口さんは、スマートフォンやタブレットなどの情報端末は、すぐに連絡が取れる。便利なアプリが使用でき、勉強に有効活用できる。気になったことをすぐに調べることができるなどのメリットがある一方、SNSを通しての誹謗中傷により相手を傷つけ、人の命を絶つ怖さがあることや中学生の人間関係のトラブルの最大の要因となっていることなどの情報端末のメリットとデメリットを挙げ、「情報端末との付き合い方」と題して話をしてくれました。情報端末は、正しく使うことで、生活を便利に楽しくするものであるが、そのためには使用のルールを決めることや配信する前には再考し、見直す必要があると考えを主張しました。そして自分自身が情報を取捨選択する力を身につけていきたいと話してくれました。



3名の代表のみなさんの主張は私たち誰もが、これからも考え続けていかなければならない主張だったと思います。お疲れさまでした。

また、本校生徒会から3年生森田さん、荒木さん、上野さんが進行役などを務め運営に携わってくれました。ありがとうございました。

矢上くんち奉納踊り

10月17日(火)4年ぶりに矢上くんちが開催されました。今年是一年番町として田之浦地区と現川地区より本浮立が奉納され、本校でも庭先廻りとして、奉納踊りを披露していただきました。本校生徒も田之浦地区で2年生細川さん、松尾さん、城下さん、国分さん、松尾さんが、現川地区では1年生楠本さん、袋良さん、浦川さん、梅原さん、2年生藤本さん、田中さん、3年生平さん、永田さん、平野さんが参加しました。本校での奉納踊り披露の際には、友達が出演していることもあり大変盛り上がり、伝統ある奉納踊りを堪能させていただきました。すがすがしい秋の始まりを感じさせてもらったひと時でした。



また、10月4日(水)には、矢上地区ココデショ保存会の方々から、400年の伝統があるココデショの伝承・引継ぎを目的に、歴史やこれまで実施された先輩たちの勇姿を、ビデオや展示・説明を通して熱く伝えていただきました。生徒は、東長崎地区の伝統と誇りをあらためて

感じていたようです。多くの生徒が、この伝統と誇りを引き継いでいってくれると期待しています。

家庭学級及び学校保健委員会講演会開催



長崎市東公民館家庭教育学級及び東長崎中学校学校保健委員会として、10月19日(木)に大村共立病院 宮田雄吾先生を招いて講演会を開催しました。

宮田先生には、「望ましい生活習慣の確立に向けて～睡眠とゲーム依存～」と題して、睡眠のメカニズムを詳しく説明いただき、私たちの体にとって睡眠が大切であることを教えていただきました。

そのうえで、ネットやゲーム依存によるスマホの過剰使用の眠りや身体面に与える影響や精神的・社会的な悪影響について話していただきました。

身体的影響としては特に、眠りの質の低下(深い眠りの低下)、サーガディアンリズム(約24時間周期のリズム)の崩れ、頸肩腕(首筋から肩にかけての痛み、しびれ、慢性的な頭痛)、胸郭出口症候群(胸郭から出る静脈圧迫による両腕のしびれや痛み)、骨密度低下などの危険性があることを話していただきました。

精神的・社会的な悪影響については、授業中の居眠りや遅刻・欠席、成績低下、就労困難、浪費等の学業や仕事や金銭面についての影響や、生活リズムの乱れ、睡眠障害、いろいろ、ひきこもり等の精神面、家庭内不和、家庭内暴力、暴言、友人の減少等の人間関係の面があると伝えていただきました。

一方これら影響は、元々あった問題に過ぎないのではないか、ゲームによってさらに悪化したものなのかと、ゲームのせいだけではない可能性もあるのではないかと話されていました。

そのために、私たちは、ネットやゲームのいいところも悪いところもしっかり知ったうえで「ネットやゲームとどう付き合っていくか」をそれぞれでしっかり考えていく必要があるといわれていました。

